

『志賀高原スキー授業』 探究力向上を図るループリック表

学校行事は毎日行われる授業とは異なる刺激を感じることによって人間成長や探究心が育つ大切な機会です。長岡高校では、3年間の学校生活を通して、自分自身の到達段階や成長過程を確認するために学校行事において振り返りの活動を行います。今回のスキー授業では「13の資質・能力」の中でも「人間関係力」、「レジリエンス力」、「知的な好奇心」を培う機会です。行事終了後に以下のループリック表に示された各資質・能力に対して「基礎レベル」～「標準レベル」までのいずれの段階まで到達できたか自己評価し、そのように評価した理由も記入しましょう。

※それぞれの到達段階の目安は以下の通りである。

○入門レベル：本校入学時に到達済みの目安

○基礎レベル：1年終了時の到達目標

○標準レベル：2年終了時の到達目標

	入門レベル（レベル1）	基礎レベル（レベル2）	標準レベル（レベル3）
人間関係力	スキー授業の活動に <u>誠実に取り組み</u> 、他者との協働の中で自分の役割を確実に果たそうとする。	<u>班の協働活動</u> を進めるためには、円滑なコミュニケーションが必要であることを理解し、 <u>積極的に行動</u> しようとする。	係や役割によらず <u>場面によってリーダーシップを発揮</u> し、班活動を <u>活性化し前進させる</u> ことができる。
レジリエンス力	スキーの技術習得には、失敗を繰り返しながら何度もチャレンジするものだという <u>心構え</u> を持っている。	スキーの活動において、失敗しても <u>へこたれずにチャレンジ</u> しようとする。	指導者の助言を借りながら、失敗することがあっても <u>試行錯誤して改善</u> し、 <u>克服</u> しようとする。
知的な好奇心	スキー授業に <u>興味・関心を持っている</u> 。	様々なスキーの技術に興味関心を持ち、 <u>複数の知識を関連</u> させながら、 <u>主体的</u> に学ぼうとする。	知識を関連させながら幅広く学ぶ中で、 <u>自分の理想</u> とする技術を主体的に学び <u>深めよう</u> とする。

自己評価

	評価	その評価をした理由（具体的な場面、エピソードを記入）
人間関係力	_____レベル	
レジリエンス力	_____レベル	
知的な好奇心	_____レベル	

今回うまくいった点や反省点をふまえ、次に類似した機会に遭遇した時、それぞれの資質・能力を培うためにどんなことを留意して行動するか、以下の表に記入しましょう。

	留意すること
人間関係力	
レジリエンス力	
知的な好奇心	